

## 22年度補正予算について

観 光 庁

### 1. 外国人観光客の移動容易化のための言語バリアフリー化

500百万円

交通拠点から目的地（主要観光地等）に至るまでの行程において、外国人観光客に言語面での障害を感じさせないように、電子看板等の案内表示に加え、車内放送、バス停のナンバリング等様々な手段を用いて、点から線への多言語対応等を実施することで、外国人観光客の移動を容易化し、言語バリアフリーな移動環境を実現する。

### 2. 国内観光活性化緊急対策事業

392百万円

#### (1) 休暇取得分散化に係る普及・啓発

休暇取得の分散化について国民の意識・関心を高めるとともに、施策の意義・効果についての理解増進を早急に図るため、シンポジウムや調査等を実施する。

#### (2) 新たな旅行需要の創出に係る旅行商品の造成

地域等の発案に基づき、新たな旅行需要を喚起して地域活性化に資する旅行商品を試験的に造成し、参加者や関係者に対して、再来訪の意向や消費額等の経済効果を調査し、効果検証を行う。

#### (3) 滞在型観光地の形成

2泊3日以上での滞在型観光が可能なエリア「観光圏」を整備し、複数の市町村や県境を越えた広域的な魅力ある観光地づくりを行う。

### ●観光庁合計

892百万円

# 経済対策(ステップ2)における観光関連施策

「新成長戦略実現に向けた3段階の経済対策」(9/10閣議決定)

**ステップ1** 円高、デフレ状況に対する緊急的な対応

- 経済危機対応・地域活性化予備費(9,182億円)の活用。
- 観光業における雇用創造・人材育成の促進(0.4億円)を含む。

**ステップ2** 今後の動向を踏まえた機動的対応

- 国庫債務負担行為(1兆円)の活用を含め補正予算を編成。

**ステップ3** 平成23年度の対応—新成長戦略の本格実施

- 「元気な日本復活特別枠」の活用等による平成23年度予算の重点配分。

ステップ2の経済対策の柱

- ①雇用・人材育成
- ②新成長戦略の実現
- ③子育て、医療・介護・福祉等
- ④地域活性化、社会資本整備、中小企業対策
- ⑤制度・規制改革

## ○外国人観光客の移動容易化のための言語バリアフリー化

補正予算額: 500百万円

交通拠点から目的地(主要観光地等)に至る行程で、外国人観光客に言語面の障害を感じさせないように、点から線への多言語対応を実施。

右の2つを組み  
合わせて実施

交通拠点における電子看板等を利用  
した多言語による複合的情報の提供



二次交通機関における多言語情報の提供

停留所から目的地までの多言語情報の提供

※ピクトグラム、ナンバリング、カラーリング等の措置を含む。

## ○国内観光活性化緊急対策事業

補正予算額: 392百万円

国内観光需要の喚起及び観光地の魅力度向上を図ることを目的に、休暇取得の分散化や滞在型観光の推進を加速化させるため、以下の事業を実施。

### ①休暇取得の分散化に係る普及啓発

休暇取得の分散化に係る国民の意識・関心を高めるため、シンポジウムや調査等を実施。

### ②新たな旅行需要の創出に係る旅行商品の造成

新たな旅行需要を喚起し、地域活性化に資する旅行商品を試験的に造成し、効果検証を実施。

例) スポーツイベント後の滞在を促進、平日・閑散期に実施、若年層の需要を喚起 など

### ③滞在型観光地の形成

観光圏を整備し、広域的な魅力ある観光地づくりを実施。

(観光圏整備事業費補助金)